

脱・定番のツアー造成を 欧州部会が需要喚起セミナーを開催

JATAアウトバウンド促進協議会(JOTC)は9月4日、東京都内で「JOTC「プランナーのためのセミナー／これからの英国湖水地方プランニング」を開催し、旅行会社の企画担当者ら50人以上が参加しました。

セミナーでは英国湖水地方観光局在日代表の竹中正道氏が、世界遺産に登録された湖水地



英国湖水地方観光局
日本代表の竹中正道氏

セミナー会場には多くのプランナーらが訪れ、登壇者の話に熱心に耳を傾けていました



方の大自然やピーターラビット™やウォズワースゆかりの地、ウィン

ダーミア湖のクルーズやSL列車のほか湖畔のハイキングなどを紹介。さらにNHKで放映された湖水の庭園「ダルメイン」の人気にもふれました。「湖水地方は多様な観光素材が充実しているが、ゴッツウオルズ・ロンドンと組み合わせた従来のコースが未だ一般的。脱定番にも挑戦し、英国ファンのリピーター対策にもつなげてほしい。ぜひ多品種・少量時代のツアー造成を」と呼びかけました。

さらに、湖水地方へのアクセスが良い航空会社として、ブリティッシュエアウェイズ旅客営業部アカウントマネージャーの金本朗彦氏と、フィンエア東京支店旅客営業部課長の北川正彦氏よりフライト情報やサービスなどについて紹介。レイルヨーロッパ在日代表の加々美恵理氏は、英国の鉄道についての説明を行いました。

JOTC・航空会社インタビュー 第11回

一過性ではない良質な商品造成を

今年、85周年を迎える南アフリカ航空(SA)。日本事務所は45周年目となり、南アフリカをはじめ、周辺諸国を交えた南部アフリカへの足を一手に担ってきました。同社の取り組みや今後の市場拡大について話を聞きました。



南アフリカ航空

日本支社長代理 後藤天平氏

——SAの特徴をおしえてください。

後藤 現在日本はオフラインで、香港経由で週7便を運航しておりましたが、本国の方策により、2019年9月18日からヨハネスブルグ／香港線が週4便となりました。一方で、スターアライアンス・パートナーである全日空のパス線就航に伴い、成田／パス／ヨハネスブルグの乗り継ぎも日本初公示運賃でご利用いただけるようになりました。

弊社の最大の特徴は南部アフリカの充実したフライトネットワークです。アフリカ旅行に不安を持たれるお客様は依然いらっしゃいますが、私たちは日本に支店を置いている以上、全力でお手伝いしますので何なりとご相談ください。

——日本市場の拡大に向けた取組をお聞かせください。

後藤 中長期的な取り組みに重きを置いてPRを行っています。私たちはアフリカというデスティネーションがあってこそ航空会社ですから、価格訴求で一過性のものではなく、旅行会社の皆様と利益を残せるアフリカ旅行商品を造成してもらうた

め、現地の正確な情報を提供することが重要だと考えています。日本から南アフリカへの渡航者は年間約2万8000人と、まだ市場開拓余地がありますので、長期的な目線でマーケットを拡大していくことを考えています。

情報提供に際しては旅行会社の説明会に参加するほか、ファミトリップを通し、現地の姿を実際に知っていただくことが重要だと思っています。

——日本の旅行会社にお伝えしたいことをお聞かせください。

後藤 アフリカの販売拡大には、現地の正しい情報提供が課題のひとつです。よりよい旅を提供するため、旅行会社とともに市場拡大を図っていきたくと考えております。アフリカ商品の造成・販売をご検討の際は是非お問い合わせください。

問い合わせ TEL:03-3470-1901